



★西枇杷島駅前治療院 ニュースペーパー★

第2号 2015年8月

納涼の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

西枇杷島駅前治療院では皆様の健康のサポートをできるよう、様々な分野に長ける治療家陣にて、皆様のご来院をお待ちしています。

当院では、鍼治療が初めてだという患者様も多いので、今回は鍼初心者の方の疑問に答えます！



どんな病気に鍼って効くの！？

あまり知られていませんが鍼はこんな病気にも効果的なんです！

肩こりや腰痛だけでなく内科症状や婦人科症状まで幅広く鍼治療は使われています！

神経系疾患	神経痛・神経麻痺・痙攣・脳卒中後遺症・頭痛・めまい・不眠・神経症・ノイローゼ・ヒステリー
運動器系疾患	関節炎・リウマチ・頸肩腕症候群・五十肩・腱鞘炎・腰痛・外傷の後遺症（骨折、打撲、むちうち、捻挫）
循環器系疾患	心臓神経症・動脈硬化症・高血圧・低血圧・動悸・息切れ
呼吸器系疾患	気管支炎・喘息・風邪およびその予防
消化器系疾患	胃腸炎（胃炎、消化不良、胃下垂、胃酸過多、下痢、便秘）・胆嚢炎・肝機能障害・肝炎・胃十二指腸潰瘍・痔疾患
代謝・内分泌系疾患	バセドウ氏病・糖尿病・痛風・脚気・貧血

生殖・泌尿器系疾患	膀胱炎・尿道炎・性機能障害・尿閉・腎炎・前立腺肥大・インポテンツ
婦人科系疾患	更年期障害・乳腺炎・白帯下・生理痛・月経不順・冷え性・血の道症・不妊
耳鼻咽喉科系疾患	中耳炎・耳鳴り・難聴・メニエル病・鼻出血・鼻炎・蓄膿・咽喉頭炎・扁桃炎
眼科系疾患	眼精疲労・仮性近視・結膜炎・疲れ目・かすみ目・ものもらい
小児科系疾患	小児神経症（夜泣き、かんむし、夜驚、消化不良、偏食、食欲不振、不眠）・小児ぜんそく・アレルギー性湿疹・耳下腺炎・夜尿症・虚弱体質の改善

鍼って怖い!?

当院で使っている鍼はすべて使い捨ての鍼です。また、注射の時のような太い鍼ではなく髪の毛と同じくらいの細い鍼を使いますので御安心ください！それでも怖いという患者様はお気軽に一度当院にご相談くださいね。

何で鍼は効くの?!

鍼灸治療は東洋医学「自然治癒力」を高めるという考え方のもと治療していきます。自然治癒力は本来私たちが持っている力ですが、様々な原因で弱ってしまいます。それを鍼で助けていきます。また、あまりお薬を飲みたくない、外科的治療を避けたいという方には、最適な身体に優しい治療法なんです。

副作用はないの?

鍼灸治療において「瞑眩(めいげん)」と言う考え方があります。これは治療後、逆に身体がだるく感じたり、眠くなったりと一時的に症状が悪化したように感じる事です。患者さん全員が体験するわけではないのですが、これは症状が良くなっていく上での一過程とされています。この「瞑眩」は副作用とは考えられていませんが、副作用として考えると、次のような症状がみられる場合があります。

* 全身的な症状 *

疲労感、倦怠感、眠気、症状一時悪化、刺鍼後搔痒感、めまい、ふらつき
気分不快、吐き気 など

主に鍼灸治療後、全身に感じるものです。しかし多くの場合、治療した日と翌日にでるだけで、2日後には無くなっていることがほとんどです。

《8月の東洋健康コラム》

東洋医学的に見る不眠症の原因

「不眠」と一言でいっても、東洋学的にも原因はさまざまです。

その中でも、何かの疾患によるものを除くと、最も一般的なのが、慢性的な「肝臓の疲労」によるものです。

というのも、東洋医学的には肝臓の働きは自律神経系(交感神経と副交感神経)と関連していると考えられるからです。

東洋医学的にみる「気の作用」というものが、西洋医学的には「自律神経系の働き」に相当すると考えて良いでしょう。

つまり、東洋医学的には、無理し過ぎたり体を冷やしたりの方が不眠になり易いといえるでしょう。

<安眠を助けるつぼ>

合谷(ごうこく)

手の甲にある万能ツボ。自律神経の働きを正常にして睡眠リズムの乱れを整え、多汗症にも効果があります。

場所：手の甲側、親指と人差し指の
分かれ目のやや人差し指側にあるツボ。

押し方：親指を「合谷」にあて、気持ちいいと感じる強さでやや強めに押しもみます。両手それぞれ約30回程度、押しはもみを繰り返します。

